

(別紙様式2) 利用学習報告書

平成 28年 4月 28日

仙台市富沢遺跡保存館 館長 様

仙台市立太白小学校

校長 武田 洋

担当 第6学年 三浦 睦子

「縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

- ・ 平成28年 4月20日(水) 6校時

(1) 主な内容

6学年社会科授業の以下①②③の単元と関連させて実施した。

- ① 身近にある歴史を見つけよう
- ② 歴史博物館に行こう
- ③ 縄文の森から古墳のくにへ

2 送付する資料

- (1) 児童生徒の学習後の感想
- (2) 教師の感想等
- (3) 活動の様子

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童生徒については、個人名は伏せております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 教諭 三浦 睦子

TEL 022-245-8944 FAX 022(307)1272

Email taihaku@sendai-c.ed.jp

(1) 児童の感想から

- ・たて穴住居に実際に入ってみて、柱などが思ったよりも太かった。木をけむりでいぶすことで強くしたり虫よけにしたりするのが分かった。昔の人は頭がいいと思った。
- ・貯蔵穴、ごみを捨てる穴、土器用のねんどをほる穴、おほかの穴などいろいろな穴があることが分かった。
- ・土器や石器にはいろいろな形があることが分かった。土器はなべや皿がわりにしていることもわかった。
- ・縄文人の生活のしかたや様子が分かってよかったです。特に、アクセサリーや食べ物のことが分かりました。勾玉づくりは、ボランティアの方のアドバイスのおかげでうまくいきました。
- ・縄文の森広場には、今まで3～4回行ったことがあるけれど歴史はあまり分かりませんでした。でも、今回行ってみて歴史のことがよく分かりました。
- ・学校から思ったよりも近かった。縄文時代のものをあそこまで復元できてすごいと思った。食べ物になる植物や木がいっぱいあった。
- ・昔の暮らしを知ることができてよかった。たて穴住居に入って「ねどこ」に実際にねてみて、とてもしんせんだった。初めて行ってみて「どういうところなのかな。」と書いていたけれど、とても楽しかった。

※全員の児童が、勾玉づくりがとても楽しかったということを書いていました。

(2) 担任の感想

縄文の森広場の体験学習活動は初めてでしたが、大変有意義な活動ができたと感じている。

年度初めて忙しく、社会科の授業ではヒトは二足歩行により道具を使い進化をとげたという点を押さえてだけで今回の学習に臨んだが、たんけんノートの内容と館内学習がうまくリンクしていて、子どもたちもポイントをおさえて見学をすることができた。

児童も縄文時代のことがとてもよく分かったという感想を書いているが、事後学習も教室で楽しく興味を持って取り組むことができた。たとえば、2階展望休憩室に関連したQ1（名取川、太白山）の問題は学校にもどってきてから取り上げ、実はこの場所が山と川が近い食料の宝庫であることを確かめ合った。

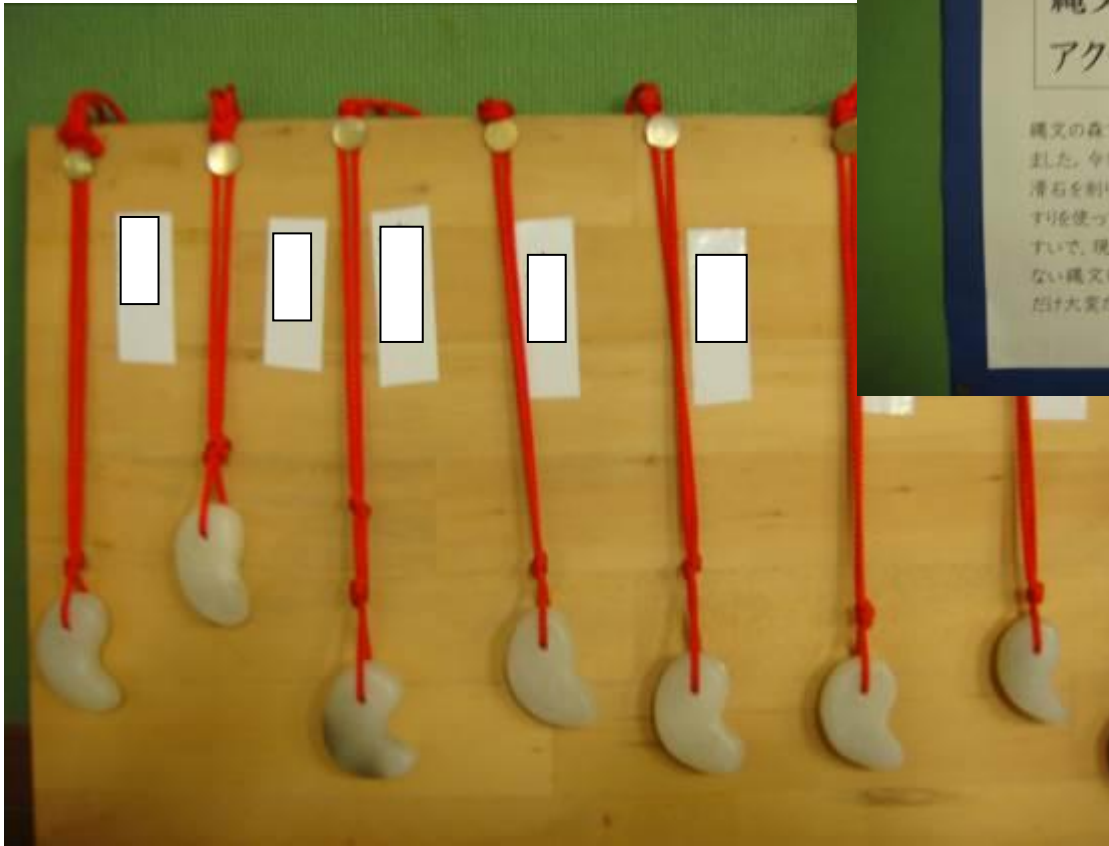
外の広場の見学では、実際にたて穴住居に入ることができたので児童もイメージがつかめたと思う。木をいぶすことで丈夫にするという話を聞き、また実際に煙をたいての作業も見学できてよかった。たて穴住居を復元展示している博物館は多くあるが、実際に中に入り体感できる場所は全国でも珍しいのではないかと思った。また、当時の樹木を観察しノートにまとめたことで、狩りや採集の生活を実感できたようだ。

勾玉づくりは、全員が楽しく取り組むことができた。完成した勾玉は、教室に展示し、授業参観で保護者にも見てもらったところ大変好評であった。

今回の学習は、社会の教科書「身近にある歴史を見つけよう」とも関連させた。山田上ノ台遺跡は太白小からも近く、更に学区内の遺跡についても紹介していただき、児童の興味も高まったように感じた。これまで、日本の国の成り立ちのころの学習は、児童の興味や関心を高めるのに苦労してきたが、今回の学習で私たち教師も勉強になった。今後も活用したいと感じた。

大変お世話いただきありがとうございました。

教室に掲示した勾玉



縄文時代の アクセサリー

縄文の森で勾玉作り体験しました。今回は最もやわらかい滑石を削り、現代の道具のやすりを使って作り直した。硬いので、現代の便利な道具もない縄文時代の人はどれだけ大変だったか……(ー)

竪穴住居で寝っ転がる児童



竪穴住居で説明を聞く児童

